


◆映像制作者（制作会社・クリエイター）エントリーシート（本補助金マッチングサイト上に公表されます）

事業者名		写真（取り扱い内容の分かるものを貼付）
株式会社テレモアドットコム		
所在地（市区町村まで）		
宮城県仙台市		
事業者ホームページ（あれば）		
https://www.tele-more.com/		
担当者名（苗字のみ可）	担当者連絡先（どちらか1つ以上）	
市川	電話：022-261-9481 メール：ichikawa@tele-more.com	
制作できる映像の種類	所属クリエイター・ディレクター等（公表できる範囲にて）	
<input checked="" type="checkbox"/> 実写 <input checked="" type="checkbox"/> アニメ <input checked="" type="checkbox"/> ドキュメンタリー <input checked="" type="checkbox"/> その他（ドローン VR 静止画）	葛西 孝信 阿部 新吾 千葉 健太郎 マーカス・カニング	
映像制作実績（本事業と類似するものを中心に／公表できる範囲にて）		
2018年 総務省海外コンテンツ配信「一度来てみて TOHOKU プロジェクト」 マレーシア Radial Televisyen Malasia(国営放送局)		
2019年 総務省海外コンテンツ配信「FLY WITH YAYA」「Connect TOHOKU Japan」 マレーシア TV3 Media Prima Astro Prima（ケーブルテレビ）		
2018年 経産省中小企業支援事業「南東北紹介映像」台湾上映（ドローン撮影）		
2019年 経産省共同協業販路開拓支援事業「ポータルサイト IPPINMURA TVCM 制作」 在仙 TV 局情報番組制作（週1レギュラー6本制作） 高校スポーツ部ドキュメンタリー「めざせ頂点」30分/月		
2018年 東北大学学際フロンティア紹介プロモーション映像		
2018年 東北大学 通研 紹介プロモーション映像		
2018年 東北大学東北大学男女共同参画推進センタープロモーション映像		
2018年 東北大学農学部プロモーション映像		
2017年～B2 東北エリア配信業務 東北大学学位記・入学式（上映・配信）10年間 東北大学リベラルアーツサロン収録・編集		
2019年 東日本 JR 周年式典上映・制作		
2019年 宮城県 みやぎの農泊推進情報発信プロモーション映像		
2019年 仙台市消防局紹介映像		
2019年 みらい創研プロモーション映像		
2019年 東北大学ユニバーシティ・ハウス青葉山プロモーション映像		
2019年 東北文化学園専門学校 プロモーション映像		
2019年 東日本 JR 野球部周年記録		

2019年 東北大学医工学研究科プロモーション映像  
2020年 東北大学 未来型医療 対談動画  
2020年 宮城学院女子大学シンポジウム撮影・制作  
2020年 東北福祉大学卒業授与式メモリアル映像制作  
2020年 東北大学鳥人間製作記録映像  
2020年 東北学院大学卒業式上映・制作

自社が得意とする訴求先（ターゲット層）と、その手法（YouTube 配信向け、SNS 向け、その他）

弊社は番組制作から TVCM、WEB 製作・YouTube 広告や SNS 向けコンテンツ等国内外問わず幅広い企画・立案・製作を手掛けております。特に近年では、YouTube・SNS 等を活用した海外向けコンテンツにおいて累計 400 万回再生以上を記録し大きな反響をいただきました。コンテンツを製作して終わりではなく、お客様の描く理想からさらにその先を見据えた展開をご提案いたします。

コーディネーターとの連携の可否と、実績

可能  
不可能

（可能な場合、連携可能なコーディネーターと実績）※公表できる範囲にて

企業とのコミュニケーションで大切にしていること

私たちはお客様との会話を通して、お客様の描く未来の実現に必要なものは何かを考えます。見えにくい抽象的な課題を明確化し、各分野の具体的なご提案のみならず、時代の流れを見据えた長期的な広報計画まで、一人一人に合わせてカスタマイズした最善の戦略をご提案いたします。

ブランデッドコンテンツ制作を希望する事業者へのメッセージ

より多くの伝えたいコト・モノを、より多くの人たちへ「想い」として届ける  
私たち映像制作会社の「テレモアドットコム(TMC)」は、映像に関する企画・立案から制作、撮影、編集、MA WEB 製作・SNS 運用、それらを活用した広告企画・立案など社内一貫で完結させることを強みにしております。  
時代の移り変わりとともに進化し続ける撮影機材を駆使しながら、常に新しい視点を持ち、メディアコラボレーションでさらなる映像制作の無限の可能性を追い求めて行きます。  
そして多種多様なデバイスの出現により複雑になる情報化社会に柔軟に対応し、映像を中心とした総合プロダクションとして価値のあるデジタルコンテンツを制作してまいります。